

## 1. 所長による分析（業務運営の総括）

### （1）今年度特に重点的に取り組んだ事項についての分析等

#### （1）各指標に対する取組

- ・目標を意識することが重要と考え「ハローワーク評価」についての研修を実施しました。目標についての共有が図られました。
- ・求人開拓、事業所情報の収集のため事業所訪問を増やしました。求人者マイページ未活用の事業所には活用を強く勧めた結果目標の80%以上を達成できました。
- ・面接を躊躇する求職者に「応募前職場見学」を勧めました。採用率が高いこと、利用満足度が高いことをリーフレットで説明して紹介件数の増加につながりました。
- ・「求職者担当制」の支援対象を常時3人から5人へ増やしました。
- ・雇用保険受給者で緊要度は低いが就職可能性が高いと思われる求職者を求職者担当制へ取り込み支援しました。
- ・遠方の方、子育て中の方、訓練受講中の方などに積極的にオンライン相談を勧奨しました。

#### （2）中長期的な職員の資質向上に向けた取組

- ・職業紹介にかかる「事例検討会」を実施しました。
- ・本省作成の動画を活用して「キャリアコンサルティング」研修を実施しました。
- ・就職困難者（障害者・外国人）支援の研修を実施しました。
- ・川内労働基準監督署に講師依頼して「労働基準法の制度理解促進研修」を実施しました。

### （2）前年度の課題を受けて今年度にサービス改善・業務改善を図った事項についての分析等

- ・「雇用保険説明会・初回講習」を再開しました。雇用保険受給者の早期再就職を促進させることを目的として、早期再就職のメリット、ハローワークのサービスメニュー、マイページ登録について重点的に案内を行いました。
- ・ハローワークインターネットサービスで求人検索するときの、検索条件入力の手間を省くため、「当日・前日受理求人」等の検索条件を2次元コードにして検索を簡易にしました。10パターンの2次元コード一覧表を作成して周知しました。
- ・ホームページの利用が低調でしたが、ホームページのリニューアルを機に自治体の広報誌に掲載した結果、閲覧数の増加につながりました。

### (3) その他の業務運営についての分析等

--

### (4) 今年度見えてきた課題とそれを踏まえて次年度以降に取り組むべき更なるサービス改善・業務改善の方向性

<ul style="list-style-type: none"><li>・当所では顕著ではないが、全国的には今後求職者（特に若年者）が減少することが懸念されています。若年層の求職活動方法は多様化しているため、ハローワークの求職支援メニューを広く周知広報します。</li><li>・オンラインでのサービスメニューが充実してきたのでマイページ登録・オンライン相談・オンライン紹介の利用を促進します。</li><li>・就職するのに課題を抱えた求職者に対しての相談では高い専門性が求められるためキャリアコンサルティング等の学習、事例検討会を通して相談能力を高めます。</li><li>・人手不足分野の求人は常時有効なものが多く、ミスマッチがあります。事業所訪問等を実施して事業所との接触の機会を増やして求人条件緩和・事業所情報を収集して求職者へ情報提供します。</li></ul>
---

## 2. 総合評価 (※)

標準的な成果
--------

※ 業務量や業務の特徴などが同じようなハローワークとの比較による評価

### 3. マッチング関係業務の成果（主なもの）

	就職件数	充足数	雇用保険 受給者 早期再就 職件数	満足度 (求人 者)	満足度 (求職 者)	ハロー ワークの 職業紹介 により、 正社員に 結びつい た就職氷 河期世代 の不安定 就労者・ 無業者の	公的職業 訓練修了 3か月後 の就職件 数						
令和5年度目標	2,089	1,791	482	90.0%	90.0%	120	32						
令和5年度実績	1,873	1,682	475	71.1%	95.9%	139	40						
目標達成率	90%	94%	99%			116%	125%						

※ 「目標達成率」は年度当初に設定した目標値に対する達成率

※就職件数は「(従来の)紹介就職」及び「オンライン紹介による就職」の合計件数、充足数は「(従来の)紹介就職」、「オンライン紹介による就職」及び「オンライン自主応募による就職」によるハローワーク求人の充足数の合計となっている。